

令和7年度 学校経営の概要

1 学校教育目標

子どもたちを取り巻く社会は、高度情報化、グローバル化、AIの発展、少子・高齢化など変化し続けている。また、未知なる感染症の拡大や国際情勢の不安定化、頻発化する自然災害など、予測困難で変化の激しい社会となっている。そのような中、次代を担う子どもたちに求められるのは、社会の変化に主体的に対応し、状況に応じて自分で判断しながらよりよい生き方を選択していく力である。また、持続可能な社会の担い手として、社会や地域とのつながりを重視し、未経験の困難等に直面しても他者と協働しながら乗り越え、生き抜く力である。そのためには、主体的に様々な情報を収集し、その情報を基に考えたり物事を創造したりするたくましさ、力強さが必要である。

そこで、八幡平市学校教育方針に基づき、未来を創造豊かに自ら切り拓いていく子どもの育成をめざし、本校の教育目標を次のとおりとする。

[学校教育目標]

郷土を愛し、自らの世界を切り拓く主体的・創造的な子どもの育成

- ◆すすんで学習する子ども（知）
- ◆なかよく助け合う子ども（徳）
- ◆あかるくたくましい子ども（体）

2 具体目標

[めざす子ども像]

◆すすんで学習する子ども

(知識・理解) 基礎的な知識や技能を身に付け、それを生かす子ども
(思考・判断・表現) 筋道を立てて考え、表現する子ども
(学びに向かう力・人間性) 課題意識をもって、学習に取り組もうとする子ども

◆なかよく助け合う子ども

(知識・理解) 人とのつながりや友達のよさを認められる子ども
(思考・判断・表現) 自他のよさを生かし、協力して物事に取り組む子ども
(学びに向かう力・人間性) 思いやりや感謝の気持ちを表現しようとする子ども

◆あかるくたくましい子ども

(知識・理解) 健康や安全について理解し、目標や課題を設定できる子ども
(思考・判断・表現) 目標や課題の達成・解決に向けて、工夫して取り組む子ども
(学びに向かう力・人間性) 健康やよりよい生活の実現に向けて、最後まで取り組もうとする子ども

[めざす学校像] 学ぶ楽しさに満ちあふれる学校

- 子どもが自分のよさや成長を実感できる学校
- 個々の力が生かされ、活力に満ちた学校
- 健康・安全に配慮し、危機管理がしっかりした学校
- 地域に根ざし、地域と共にある学校

[めざす教職員像] 協力して職務を遂行する教職員

- 専門性を身に付け、指導力・授業力向上に努める教職員
- 子ども理解に努め、子どもを温かく的確に支える教職員
- 使命感と責任感をもち、協働の精神で、誠実に職務を遂行する教職員
- 子ども、保護者、地域と共に歩む教職員

3 学校経営の方針

保護者や地域住民と連携・協働し、学校教育の充実を図ることにより、主体性・創造性を育むとともに「知・徳・体」のバランスのとれた「人づくり」に努める。

- (1) すべての教育活動を通じて、学びに向かう力（主体性）と思考力・判断力・表現力、そして、道徳性と創造性を高める指導を行う。
- (2) 学級経営や生徒指導の充実を図り、児童の心の安定とよりよい人間関係の構築を目指す。
- (3) 地域の人的・物的教育資源を活かし、地域の理解を深める特色ある教育活動を推進する。
- (4) 役割分担と協働（学校、家庭、地域）により、児童の安全・安心を確保し、生命と健康を守る。
- (5) 課題の要因を明らかにし、PDCAサイクルによる目標達成型の学校経営に努める。

4 今年度の重点

- (1) すすんで学習する子どもの育成

◎ア 学力保障

・いわての授業づくりの3つの視点に基づく授業の実施

（視点1「学習の見通し」、視点2「学習課題を解決するための学習活動」、視点3「学習の振り返り」）

- ・学習習慣の確立（基本的学習訓練、基本的話型表に基づく系統的指導、ノートの使い方 等）
- ・基礎的な知識や技能の定着（満点テストの取組と実施、宿題による反復練習）
- ・学習意欲、思考力・判断力・表現力の向上（学び合いの時間確保、自分の考えを表現したり、学習を振り返ったりする場面の設定、家庭学習との連動による意欲の向上）
- ・ドリルタイムの活用（計算練習、音読練習、視写、条件作文、アシストシート、読書 等）

◎イ 総合的な学習の時間の充実

・地域の理解を深め、郷土愛を育む題材開発と精選（年間計画の見直し、カリキュラムマネジメント、評価項目の吟味、課題解決及びコミュニケーション能力の向上）

- ・地域の教材及び教育機能の有効活用と相互交流（キャリア教育の推進）
- ・体験活動の重視（環境教育の視点）

ウ 新しい取組への対応

- ・プログラミング教育の充実
- ・ICT 機器の活用（使用目的、個別最適化、リモート学習への対応）
- ・国際交流を見据えた外国語教育の推進（国際理解教育、交流活動）

エ 校内研究・現職研修の充実

- ・主題研究の充実（理論研究や実践研究による授業改善）
- ・日常指導の充実（諸調査の分析と活用、学習環境の整備、指導方法の工夫改善）
- ・校外研修の意図的・計画的な実施
（研究推進、職能向上、個人スキルの向上、人材育成、幼保小連携、小小連携、小中連携）

◎オ 家庭学習の充実

- ・家庭学習の習慣化（家庭学習の手引き、音読カードの活用、家庭学習強化週間の設定）
- ・家庭学習の工夫（授業やテストと連動した課題、予習（4年生以上）と復習、学習計画表の活用（高学年）、ICTを含む長期休業課題の工夫）
- ・家庭学習の意欲付（教師のコメント、ノート紹介、終了ノートの蓄積等）

カ 読書活動の推進

・日常読書と学習読書、家庭読書の充実(国語との関連読書、長期休み中の親子読書)

- ・図書司書や読み聞かせボランティアの活用(本の紹介、図書室の環境整備)
- ・隙間時間の活用(ちょこちょこ読書、いろいろ読書)
- ・年間読書の目標冊数達成(良書を読ませる取組、委員会による多読啓発)

(2) なかよく助け合う子どもの育成

ア 道徳教育・人権教育の授業の充実

- ・教育活動における道徳的なねらいの設定(学校行事、見学・体験活動、学習活動等)
- ・授業時間数の確保、授業内容と評価の充実、授業公開(年 35 時間の確保、ポートフォリオの活用、道徳科の授業参観)
- ・思いやりと感謝の心の育成(言葉や行動による表現活動の設定)

◎イ 学級経営の充実

- ・目標設定による向上意識の醸成(学級目標の設定、各種行事への取組目標の設定)
- ・問題解決に係る自治能力の向上(問題の明確化、解決の話合い、取組・評価)
- ・承認による自己肯定感の向上(目標達成と努力に対する評価、励まし、評価)
- ・個性を生かした人間関係の構築(個性の尊重、所属感の醸成、他者肯定感の育成)

◎ウ 生徒指導の充実

- ・基本的な生活習慣や規範意識の確立(まなびフェスト、寺田小のくらし、学習の約束)
- ・情報モラル指導の充実(ガイドラインの設定、トラブル回避と対応、保護者への啓発)
- ・問題行動の早期発見・早期対応(教育相談の定期的実施、保護者との連携)
- ・いじめの未然防止及び措置対応(役割分担による組織対応の徹底)
- ・学校不適應の未然防止、早期発見・早期対応(役割分担による組織対応の徹底)
- ・心の安定のための教育相談の充実(担任・養護教諭・特支コーディネーター等)
- ・主体性を育てる児童会主催の活動促進(あいさつ運動・なかよし集会 等)

エ JRC活動の推進

- ・「気づき」「考え」「実行する」態度の育成
(あいさつ運動、縦割り班、募金、草取り・落ち葉掃き・雪かき等のボランティア活動推進)

(3) あかるくたくましい子どもの育成

◎ア 体力づくりの推進

- ・年間を通した運動計画の実施(業間遊びの充実、縄跳び、体育前のストレッチ等)
- ・「60(ロクマル)プラス運動」推進(目標設定、目的的运动推奨、ICTの活用)
- ・行事と関連させた体力づくりの実施(チャレンジ持久走、市内陸上競技会、スキー教室)
- ・体力テストの実施(実態把握、課題の明確化、業間運動や体育授業の工夫改善)

◎イ 保健指導の充実

- ・生活習慣の確立による疾病予防(まなびフェスト、60プラスプロジェクト、ネット依存予防、早寝・早起き・朝ごはん・歯磨き・手洗い・うがい等の望ましい生活習慣確立)
- ・健康管理(健康診断、肥満防止、視力低下防止、むし歯予防、けが防止、心の健康、ネット依存予防、外部機関と連携した指導、保健委員会の活動)

- ・学級指導の充実（健康観察、衣服の調整、性指導、教室環境の整備、感染症予防対策）

ウ 食育指導の充実

- ・意図的計画的食育指導（栄養教諭による指導、「60プラスプロジェクト」の推進）
- ・**給食時の指導**（衛生管理、準備、**食べ方、マナー、好き嫌い**、後始末）
- ・校内放送や掲示による啓発（図工室前掲示、昼の校内放送）

エ 清掃指導の充実

- ・縦割り清掃の実施（奉仕・勤労・愛校心の醸成、責任感と協力心の育成）
- ・清掃リーダーの育成（効率よい清掃手順、学年に準じた役割分担、自治意識の醸成）
- ・**無言清掃の実施（無言意識の日常化）**
- ・清掃場所担当者による点検、指導（清掃指導、状況の確認、評価）

オ 安全指導の充実

- ・学校安全指導の充実（管理下内の怪我の防止、プール管理、迅速・誠実・組織的な対応）
- ・交通安全指導の実施（登下校指導の充実、交通安全教室の実施、スクールバス）
- ・**防災安全指導の実施（八幡平市火山防災カリキュラムの活用、様々な災害に対応した訓練、保護者・地域・関係機関との連携体制）**

（4）キャリア教育の充実

- ◎**ア 将来の夢や希望**（探究心の育成、行動力の強化、学習の動機付け強化、自己肯定感の伸長）
- イ **体験活動や交流活動の推進**（栽培活動、田植え、稲刈り、収穫祭、紫根染活動）
- ウ **学校環境の整備**（PTAと一緒にのプール清掃、花壇や畑の草取り）

（5）特別支援教育における指導・支援の充実

◎**ア 学習保障**

- ・**特性の把握と実態に応じたきめ細かな指導（「個別の支援計画」「個別の教育支援計画」に基づく指導と支援、サポート体制）**
- ・特別な教育課程の編成（自立活動の重視、生活単元の工夫）
- ・柔軟な通級指導の実施
- ・ひかりサポート支援員との連携（情報交流、打合せ時間の確保）

イ 研修機会の確保

- ・校内研修（対象児童に対する見取りや指導手立ての情報共有）
- ・校外研修（発達障がい・LD・SST・愛着障害等、新たな知識の習得、外部との連携強化）

ウ 教育相談の機会確保

- ・通常学級担任支援（ユニバーサルデザイン等環境整備、指導の手立て）
- ・保護者支援（適宜、期末面談時）

エ 関係機関との連絡調整

- ・小学校入学や中学校進学に際しての授業参観や保護者説明機会の設定
- ・教育委員会やことばの教室等との連絡、調整
- ・医療機関との連絡、調整

(6) 復興教育の充実

- ・郷土理解を深め、郷土を大切に思う心情の育成
- ・地域の実情に合わせた（火山）防災学習の推進

(7) 各種連携の強化

◎ア 家庭・地域との連携

・令和 8 年度寺田小学校創立150周年記念事業の計画・準備

・コミュニティスクールの取組推進(育成目標の共有、学校評価、各種団体による活動及び合同行事の精選と役割分担、熟議による学校経営支援、教育振興運動の発展的移行)

- ・学校行事や授業参観への参加の呼びかけ（教育活動の成果の発信）
- ・校報や学級通信等の発行（児童の様子の情報発信）
- ・保護者へのまなびフェストの周知（教育目標の共有）
- ・各学年の体験活動等に対する協力（体験活動の充実）
- ・PTAによる学習・生活環境の向上

◎イ 中学校区、保育所との連携

・授業研究会への参加(市教育研究所テーマ別部会授業研究会、学校公開研究会)

・架け橋カリキュラムに基づいた円滑な接続

- ・合同研修会や情報交換による交流
- ・地区行事への参加（合同運動会、地区のお祭り 等）
- ・教育振興運動

ウ 関係機関との連携

- ・学童クラブとの連携（学期 1 回の定期的な情報交換、必要に応じた情報交換）
- ・特別支援教育に係る連携（療育センター、子どもケアセンター、ことばの教室、中学校等）
- ・生徒指導に係る連携（八幡平市教育委員会、岩手警察署生活安全課等）
- ・教育相談に係る連携（八幡平市教育委員会、民生委員等）
- ・体験活動に係る連携（コミュニティセンター、地域ふれあい会、教振連絡協議会、社会福祉協議会）